



## 2017年環境レポート



新田ゼラチン株式会社 大阪工場

## ごあいさつ

来年創業100年という大きな節目を迎える当社は、これまで天然素材であるコラーゲンをコア素材として、常に高付加価値商品を創り出す事業を積極的に展開してまいりました。

主力製品であるゼラチン、コラーゲンペプチド、コラーゲンケーシングは、その製造に多くの水資源とエネルギーを必要とするため、省資源・省エネには積極的かつ継続的に取り組み、環境への配慮を行っております。

企業の責務としてCSRがますます重視される中、国内はもとより当社グループの海外拠点とも連携しながらグローバルな視点で環境保全に繋がる活動を進めてまいります。

昨年度、大阪工場のエネルギー使用量は前年度比で1.0%減少、またCO<sub>2</sub>排出総量も同2.8%減少いたしました。これからも「人と環境に優しいモノづくりの追求」を合言葉に社会に貢献する企業を目指してまいります。

2017年 5月 19日

取締役 環境管理担当

玉岡 徹

## 環境方針

### 大阪工場環境方針

人と環境に優しいモノづくりの追求を通して、社会に貢献すると共に、かけがえのない地球環境を守る事業活動を行います。

- 環境目標を定め、定期的に見直し、継続的改善を実施します
- 省資源、省エネおよび廃棄物の削減に取り組みます
- CO<sub>2</sub>削減に努め、地球温暖化防止に貢献します
- 法順守はもとより地域社会とのコミュニケーションを図り、環境保全活動に取り組みます
- 環境方針および環境活動内容を開示します
- 教育・社内広報などを通じて全従業員に対し、環境意識の向上を図ります

2017年 4月 1日

## 推進体制

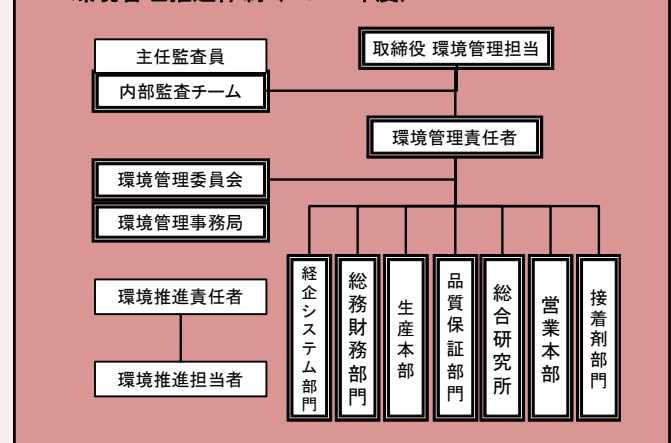
大阪工場では、経営層（取締役環境管理担当）、環境管理責任者、各部門長である環境推進責任者と主任監査員及び環境管理事務局から構成される「環境管理委員会」を四半期毎に開催しております。環境目標の進捗管理等、環境マネジメントシステムの運用状況については、同委員会で報告・協議し、方針決定します。

毎月各部署で収集される環境パフォーマンスは環境管理事務局で集約管理し、必要に応じて環境管理責任者が対応策を検討します。

マネジメントシステム全体の監視は内部監査チームが行いますが、構成監査員は適宜新しい要員と交代し、新たな視点と広い視野をもって取り組むよう努めています。

(ISO14001は1999年12月に認証登録され、更新しています)

### 環境管理推進体制（2017年度）



## 環境への取り組み

当社大阪工場は、多くのエネルギー・水資源を使用するため、環境に大きな負荷を与えています。これらの負荷を軽減するため、大阪工場ではこれまで継続的な取り組みを進めてきました。

### 1. 過去10年の取り組み

- 2008年 ボイラー群の集中制御装置を更新(エネルギー効率の向上)
- 2010年 高効率型ボイラーへの更新(5か年計画一最終)
- 2012年 高効率型濃縮機導入による省エネ・CO<sub>2</sub>削減  
工場全体の節電対応(シフト生産、業務部門の省エネ対策)  
ファックスのペーパーレス化によるコピー用紙削減
- 2013年 高効率型濃縮機の安定稼働  
工場全体の省エネ活動推進  
社内イントラネット導入による業務効率化、ペーパーレス化
- 2014年 コージェネ発電機排熱回収設備の導入
- 2015年 コージェネ発電機排熱回収設備の安定稼働
- 2016年 排水処理施設への負荷低減対策と大規模保全工事を実施  
工場全体の継続的省エネ(大型設備の効率運転、製造設備のインバータ化推進等)



当社大阪工場(2017年外壁改修)

### 2. 今年度の取り組み

- ・排水処理施設への負荷低減対策と大規模保全工事を実施し、処理効率を向上
- ・工場全体の継続的省エネ推進  
(工場のデマンド管理、昼間休憩時間内の不要な空調・照明の停止、  
クールビズ・ウォームビズの励行、省エネパトロールの実施等)
- ・社内イントラネット活用による業務効率化の推進
- ・地域清掃の実施

### 3. その他の取り組み

- ・製造工程の効率化によりエネルギー効率を向上
- ・工場の緑化
- ・小学校社会科工場見学の受け入れ
- ・照明のLED化
- ・人感センサー設置による照明自動消灯
- ・事務用品の再利用化による購入削減の啓蒙活動
- ・紙包材の紙資源化、熱資源化
- ・フレコンバッグの再利用
- ・グリーン購入調達の推進
- ・廃プラ・廃油の有価リサイクル化

## 2016年度 環境活動実績 (2016年4月1日～2017年3月31日)

大阪工場では、年間計画に基づいて環境活動を推進し、目標達成に努力しております。

エネルギー原単位は、目標(2014年度実績)より増加し、目標未達でした。

CO<sub>2</sub> 排出量は、前年度より増加が見込まれたため極力抑える努力を行った結果、目標(高効率型設備導入後水準維持)をクリアし、さらに前年度以下に抑えることができました。

廃棄物については環境負荷の大きい埋立廃棄物を極力排出しないよう努力した結果、排出量目標を下回りました。

廃棄物リサイクル率については、これまで通り100%近い状態を維持できています。

水資源(市水道)については、前年度特に洗浄に水を多用する一部製品の増産や新設備の本格稼働により使用量が一時的に増加していましたが、前年度実績以内に抑える努力を行った結果、目標以内に収めることができました。

紙資源については、社内IT化を進めて無駄な印刷をなくしコピー用紙使用量を減らす努力をしており、2016年度は前年比削減しました。

その他法順守、化学物質管理、苦情対応等については適正に処理できています。

環境目的	環境テーマ	実績	評価
環境法規制順守	環境法規制に基づく運用管理の徹底	予定通り実施	○
	是正措置の実施	異常なし	○
	環境影響の予測	新規導入設備のアセスメントを1件実施	○
省エネルギーの推進	製造エネルギー原単位の削減(2014年度実績未達)	4.3%増加で、目標未達	×
CO <sub>2</sub> 排出量削減	大阪工場全体のCO <sub>2</sub> 排出量削減(省エネ設備導入後水準維持)	目標達成(前年度比△2.8%)	○
廃棄物の削減	埋立廃棄物の削減(5t以下)	排出量 2.7t(△46%)で目標達成	○
廃棄物の適正処分	廃棄物リサイクル化の維持・管理	廃棄物リサイクル率 99.8%	○
水資源の削減	市水道使用量の削減(前年度実績未達)	10.6%削減で、目標達成	○
紙資源の削減	紙の使用量の削減(前年実績未達)	5.0%削減で、目標達成	○
化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	適切に管理されている	○
環境教育の推進	一般啓蒙教育の推進(都度)	予定通り実施	○
	啓蒙活動の推進(3回/年)	予定通り実施	○
	指定業務教育の推進(都度)	予定通り実施	○
	内部監査員教育の推進(1回/年)	予定通り実施	○
工場周辺の環境整備	地域清掃の実施(2回)	予定通り実施	○

○：目標達成

△：前年実績は下回るが、目標は未達

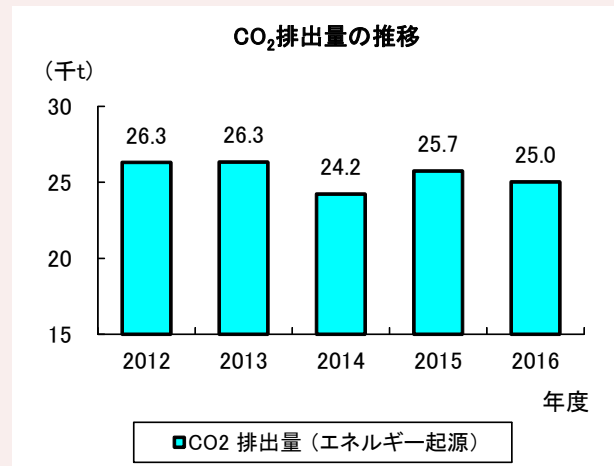
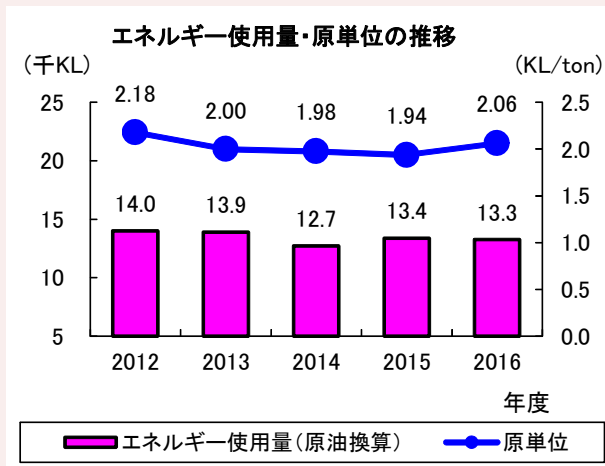
×：前年実績・目標ともに未達

## 省エネ活動とCO<sub>2</sub>削減への取り組み

製造部門では、高効率型濃縮機やコージェネ排熱回収設備を導入してエネルギー効率を高め、工程の改良に努めています。また業務部門でもOA機器や照明・空調などの省エネ推進を展開しております。

2016年度は、エネルギー使用量(原油換算)は前年度比1.0%減少しましたが、原単位(製品1トンあたりのエネルギー使用量)は増加しました。

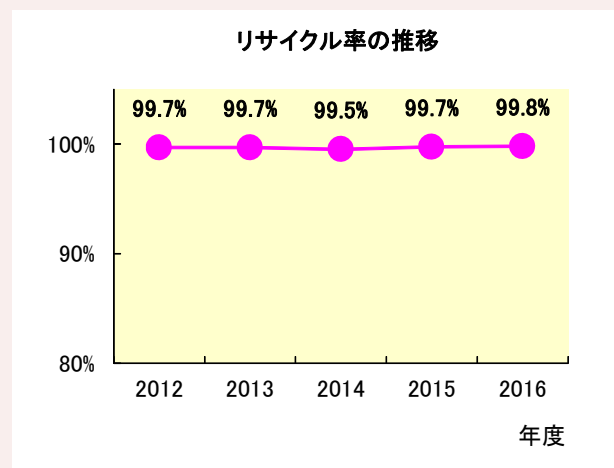
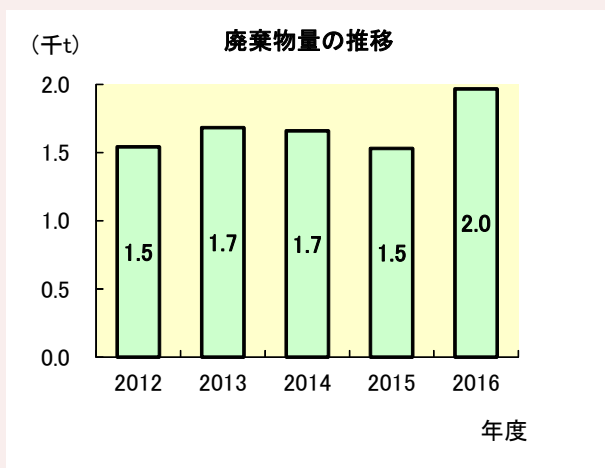
CO<sub>2</sub>排出量(総量)は、前年度比2.8%減少しました。



## 廃棄物管理

2016年度の廃棄物排出量は、排水処理施設の大規模保全工事の実施に伴い、多量の汚泥を回収したため、前年度比28.6%の増加となりました。

全廃棄物のリサイクル処理率(熱リサイクル含む)は99.8%で、ほぼ100%を維持しています。

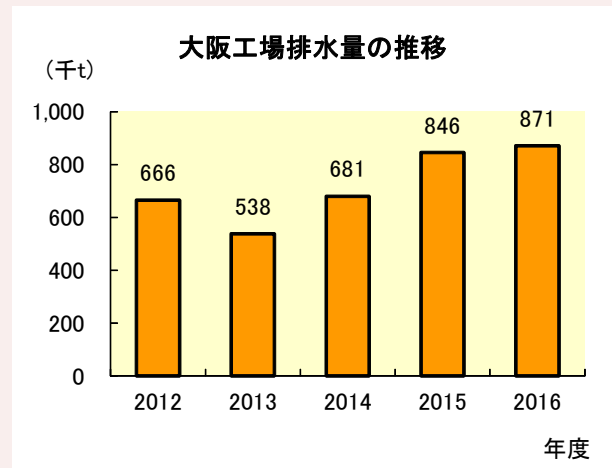


# 省資源活動

## 1. 水資源

2016年度は製品品質の維持・向上のために取水量が増加し、そのため排水量も増加しました。

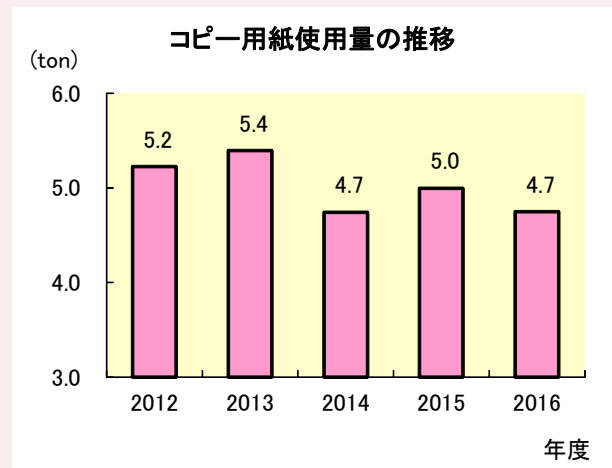
今後は作業工程の見直し等により、製品品質を維持した中で取水量の削減や再利用に取り組んでいきます。



## 2. 紙資源

2016年度は、社内イントラネットやクラウドの活用による社内IT化を推進しコピー用紙削減に努めた結果、前年度比で5.0%減少しました。

今後も、よりいっそうの業務効率化を推進し、紙資源の節約に努めていきます。



## 教育活動

大阪工場で働く全ての従業員を対象に、新入社員教育、一般教育、推進担当者教育等を推進し、意識向上・啓蒙活動に努めています。

### 1. 環境セミナー

工場の全従業員対象の啓蒙活動を目的とした環境一般セミナーを毎年7月頃に行っています。

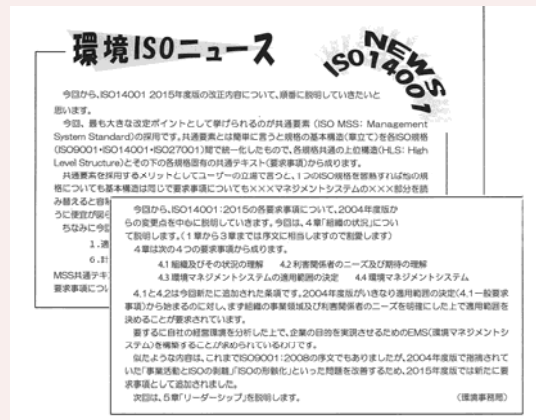
2016年度は、八尾市の水道水について水道局職員の方から説明と実演(試飲)を行っていただき、従業員の意識向上を図りました。



環境一般セミナー (2016年7月)

### 2. 社内報

社内報には、定期的に環境特集記事を掲載し、環境活動の重要性や社内での活動報告を行い、従業員の意識向上を図っています。2016年度からは、規格改定内容について各章毎に分けて説明を行っています。



社内報記事 (2017年1月)

## 緊急事態対応

### 1. 消防訓練

毎年八尾市消防署の指導の下、消防及び防災の訓練を行っています。

2016年度は、6月に消防訓練、12月に防災訓練を行い、火災発生を想定した避難訓練、自衛消防団による放水訓練、消火器訓練等を行いました。



消防訓練 (2016年6月)

### 2. 緊急事態訓練

工場内で薬品漏洩等が発生した時の環境汚染拡大を防止するため、対象部署において事故・緊急事態を想定した模擬訓練を定期的実施しています。

2016年度は、12月にゼラチン工場において硫酸漏洩を想定した緊急事態訓練を行いました。



硫酸漏洩緊急事態訓練 (2016年12月)

# 企業市民としての活動

## 社会貢献活動

地域の方々との関わりの中から、信頼される良き企業市民として地域社会との共生に努めています。

### 1. 地域清掃

2001年度から始まった周辺地域の清掃も定着し、現在は年に2回ずつ行っています。

2016年度は6月と12月に実施し、それぞれ約50名の従業員が参加しました。



工場周辺清掃（2016年12月）

### 2. 地域緑化

地域の緑化に貢献するために、継続的に敷地内に植樹しています。

今年度はツツジ、サクラを植樹しました。

また毎年4月には、入社式の一環で新入社員と関係者で記念植樹を行っています。



記念植樹の様子（2017年4月）

### 3. 工場緑化

工場内の緑化にも力を入れています。

中庭を始めとして、正門横や各社屋の周辺には季節の花が咲き、来社されるお客様や見学者の心を和ませています。



工場内風景（2017年5月）

### 4. 工場見学

毎年、近隣小学校の社会科見学を積極的に受け入れております。2016年度は11校総勢744名の児童・教職員の方々に工場を見学いただきました。

構内見学の他、ゼラチンを使ったお菓子づくり体験やシンクロナイズドスイミングにおける頭髪の固定化例を実演を交えて説明し、ゼラチンの特性や利用例について幅広く紹介しております。



近隣小学校工場見学の様子（2016年10月）



## 2017年度 環境目標

2017年度の大阪工場環境保全活動の目標は、2016年度の実績・見直しを基に、具体的な行動展開につなげるべく目標を設定して推進して行きます。

環境目標	環境テーマ	目標値
環境法規制順守	環境法規制に基づく運用管理の徹底	法順守
	是正措置の実施	実施
	環境影響の予測	アセスメント実施
省エネルギーの推進	製造エネルギー原単位の抑制 (省エネ法への対応)	2.0kL/t 未満
CO <sub>2</sub> 排出量抑制	大阪工場全体のCO <sub>2</sub> 排出量抑制	26,000t 未満
廃棄物の削減	埋立廃棄物の排出量抑制	5t 以下
廃棄物の適正処分	廃棄物リサイクル化の維持・管理	99% 以上
水資源の削減	排水量の排出量抑制	900,000t 未満
紙資源の削減	紙の使用量の削減	前年実績未満
化学物質の管理	化学物質の適正管理	使用量管理
環境教育の推進	一般啓蒙教育の推進	都度実施
	啓蒙活動の推進	3回/年
	指定業務教育の推進	都度実施
	内部監査員教育の推進	1回/年
工場周辺の環境整備	地域清掃の実施	2回/年
	工場パトロールの実施	4回/年

発行元 : 新田ゼラチン株式会社 大阪工場  
発行責任者 : 環境管理責任者 三田 恭之  
発行日 : 2017年 6月 1日  
お問合せ先 : 大阪工場 総務部 工場管理センター(小田)  
住所 : 〒581-0024  
大阪府八尾市二俣2-22  
電話 : 072-948-7190(直)  
FAX : 072-949-8087

表紙写真 : 大阪工場 クラブ中庭 薔薇  
撮影年月 : 2017年5月